

自然に身につく

<英会話スクールで教えない>会計・税務・法律 英語術>

木村栄昌

カテゴリー：法律

Trust(信託)

(Key words) settler：設定者

trustee：受託者

beneficiaries：受益者

fiduciary relationship：信託関係

<背景の説明>

トラストは日本語では信託と訳され信託法、信託業法で規制されています。これらの法律は戦前に制定されました。大陸法を継受した我が国では信託も今までは政府の免許を受けた金融機関だけが扱えました。

しかし信託が生まれた英米ではもっと身近な存在です。最近では信託業法の改正について一連の法改正が予定され、資本金 5000 万円で信託会社の設立も可能になりました。代理店制度も設けられました。

<基本文例>

A trust is fiduciary relationship< wherein trustee holds legal title to property for benefit of beneficiaries.>

トラストは、受託者が信託財産の権原を有して受益者に利益を享受させる信託関係である。

<応用の例>

< >の部分は使えます。九九を覚えるように頭に入れてしまいましょう。

Trustor or settler is < the person who creates> the trust.

Trustee <manages trust property and distributes> income to beneficiaries.

Beneficiary <must be identifiable> at time of creation of trust.

Fiduciary <duties owed by> trustee to beneficiaries.

カテゴリー：会計

Accounting orinciple(会計原則)

(Key words)Generally accepted accounting principles：会計原則

recognition and measurement：認識と測定

income determination：収益計上基準

error correction：損益修正

<背景の説明>

会計はきわめてシステマチックな構造をしています。マルクスやニーチェなどが最大の発見といった複式簿記を基礎にしています。これは分類と集計の道具ですが、一方では言語の機能をもっています。分類・集計の論理が一つの言語でもあるのです。

この言語の文法にあたるものが「会計原則」です。世界で統一化されつつあります。

<基本文例>

Financial reporting includes not only financial statements but also other means of communicating information that relates, directly or indirectly, to the information provided by a business enterprise's accounting system.

財務会計情報はその会社の財務諸表だけでなく、その企業体の会計システムから読み取れる他の直接・間接の関連情報も含む。

<応用の例>九九のために。ビジネスの現場では九九のように言い回しが浮かばないと話が続きません。

It has been the result of <a problem by problem> approach

The primary <objective of accounting is to> measure income.

Revenues, expenses, gains, and losses <are used to> compute earnings.

Cash basis accounting, <in contrast to> accrual basis accounting, recognizes <income when cash is received> and <expenses when cash is disbursed.>

自然に身につく＜英会話スクールで教えない＞会計・税務・法律